

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	ひなた北千里		
○保護者評価実施期間	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13 (回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年5月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ひなた北千里を利用する子どもたち一人一人のことを考え、共有し、どのような活動や取り組み、またはどのような合理的配慮が必要であるのかをスタッフ間で話し合いを重ねることが出来ている。	それぞれの児童指導員のこれまでの経験や知識を元に、児童発達管理責任者のみの視点だけではなく様々な指導員の視点を吸い上げるための工夫(スタッフ間のコミュニケーション)を常に考えている。 ・モニタリング会議を常勤児童支援員と行う ・全スタッフの揃う場で個別支援計画更新に関わる会議を行う	限られた時間の中で情報や手立てを共有し、一人一人の支援の方向性や配慮を統一するために、個人情報に留意しながらアプリ機能を使ってスタッフ間において情報共有や意思の疎通を行っていく。 ・日常のなかで気になったことや保護者の方から得た情報などを全てのスタッフに共有できるようにアプリを利用する
2	子どもたちの将来のために多様な取り組みを行っている。 未就園児に関しては母子分離の第一歩としての役割と、保護者のレスパイトや同じ悩みを共有できる保護者同士の交流を促すことにも力を入れている。ご家庭で保護者の方のみが背負うには負担が大きい部分をサポートできるように保護者支援を大切にしながら、将来の母子分離に向けたスタートとして身辺自立と人と関わる力を積み重ねられるように支援している。	子どもたちが楽しみながらたくさんの経験を積むことができるように、「やってみたい」と思える活動内容と手立てを考えている。 ・室内活動…調理・工作・運動・ルールのある遊びなど ・屋外活動…公共交通機関の利用・買い物・プール・山登りなど	「楽しい」と実感できる取り組みをベースにしながらも、衣類の着脱や荷物の管理、外食の注文の仕方やレジでの支払いに必要なスキルなど、子どもたちの生活自立に繋がる細かな手立てを実践していく。 ・活動を通して身に付けて欲しいスキルなどをスタッフ間で共有しスモールステップで一つ一つ積み上げていく
3	利用児童の人数や活動内容に応じた人員配置や活動場所の振り分けを行っている。 未就園児に関しては小集団で、信頼できる大人やお友達との刺激から「やってみたい」を引き出せるようにみんな遊びを行うと共に、自分の好きな遊びを保障する自由遊び、人と関わる部分の基礎を築くための個別抜き出し療育など多岐に渡る活動を提供している。	安全に活動できることを最優先にしながらも、子どもたちに丁寧に関わる人数でグループ分けを行い、室内活動グループと屋外活動グループに分かれて活動している。 ・分かれて少人数で活動するパターンと、全員で活動するパターンを意図的に考えて活動内容を考えている。 ・未就園は自由遊び、みんな遊び、個別抜き出し療育	現在は活動内容や行先などをスタッフ内で考えているが、今後は子どもたちにも考えてもらう機会を設けていきたい。 ・今年度のひなた北千里大きな取り組み目標は「自分で考え、自分で実行する習慣をつける」です。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時・非常時の対応	業務が多い ↓ 膨大な業務の合間で法人にも協力をお願いしながら、避難訓練や備蓄用品の管理、義務研修など協力体制を整えていく。	・非常時においては、子どもを安全に保護者の方に引き渡すことを最優先にシュミレーションを行う。 ・真夏、真冬の時期に停電し空調が機能しない状況でも保護者に安全に引き渡すまで子どもの命を守るためのシュミレーションを備蓄品の準備を行う。 ・避難所において安全に過ごす手立てをシュミレーションする。
2	保護者の方との連絡対応 送迎時間の変更や欠席連絡の管理等	欠席連絡や変更連絡が管理者LINE、事業所の固定電話、連絡帳への記入など複数個所の窓口があり把握が複雑だった ↓ 令和7年度より保護者と事業所間での連絡アプリの導入	・送迎に感じては本当に複雑な業務なので、事業所内での連絡ミスや把握ミスなどを減らす工夫はしながらも、前日に送信する送迎時間連絡において保護者の方にも確認をお願いする。 ・事業所内においては、保護者の方からいただいた変更連絡をすぐにアプリと事業所内の送迎表にすぐに反映させるようにする。
3	保護者間交流	令和6年度においては業務量の多さから、保護者間交流を断念していた一年だった。 ↓ 令和7年度より法人理事やひなた北千里スタッフの協力を仰ぎながら活動が停止していた「ひだまり」の活動を再開させる。	母親たちのお喋りイベント「ひだまり」を通して、 ①保護者間の交流や情報共有の場を提供する ②ひなた北千里の保護者以外も参加できるイベントを開催し、地域に開かれた事業所にする という二つの取り組みを実現する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名 ひなた北千里

公表日 2025 年 5月 15日

利用児童数

13

回収数

12

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12				凄く柔軟に対応していただき、感謝しております。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1		1	少人数制でしっかり見ていただいているので安心してしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12				配置などで、子供の出来ることが増え、上手くいっているかと思います。荷物を置く場所や勉強するスペースなど、見てわかりやすいようになっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12				心地よいのが凄くわかります。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1	1		個別支援を入れていただき、より成長を感じております。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11			1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1			固定化しないように色々考えてくださり親子共々満足しています。曜日ごとのメンバーによって好みの遊び、活動で楽しめるように考えられていることがわかるので、とてもありがたいです。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6			6	交流も大事かと思いますが、他でできているので問題ないです。そこは求めています。そこはいらないです。ないが、問題ないと思います。無理なく、公園や公共施設で他の子ども達と触れ合えていると思います。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12				利用契約時に丁寧に説明して下さりました	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4		2	昨年度は同園内で集まれる機会を作っていたで大変ありがたかったです。今年度は進学したので、同学校のご家族との交流が出来る場を作ってくださいたいです！	今年度はかひなた北千里の管理者だけではなく、法人理事や他のスタッフの方に協力いただき「ひだまり」の定期開催を検討しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11			1	帰りでもきちんと説明して下さり、子育ての励みになり、助けていただいています。連絡ノートがあり、子供の様子を連絡しあっています	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	1	1	もう少し保護者同士の集まりとかの開催があればいいと思う	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			1	迅速に、ご対応いただき、感謝しかないです。 親身になって話を聞いてくださって話しやすいです。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11			1	利用者が閲覧できるGoogleフォトで活動内容や子供たちの様子を定期的にアップしてくれています。 いつも楽しみに拝見してます♪	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1				
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	2		4		
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	2	1	5		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			1		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12				供たちが楽しめるようにお出かけやイベントなど色々考えてくださっています	
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11			1	いつも笑顔で帰ってきて楽しかったと言っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1			先生やスタッフの方がいつも優しく接してくださり、帰りの引き渡しの時に今日の出来事を丁寧に説明してくださるので安心して預けることができる事業所です。 これかもよろしく願いいたします。 満足しています	

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		公表日				
ひなた北千里		2025年 5月 15日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	個室も利用できる場所が良い。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	利用者の利用時間に応じてスタッフを配しているところ。	最低限の人数で回しているため、不測の事態が起きた時スタッフの負担が大きいと感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0		空間は問題ないが障害の特性に応じた情報伝達に関しては改善が必要だと思われる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	個別対応できる部屋を活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	LINE WORKSやミーティングなどで情報共有をしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	グループLINEなどを通じて、保護者の意見などの共有がなされている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	業務終わりにその日の出来事や良かったこと、反省点などを良く話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		第三者による外部評価が行われているかわからない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	市や府が開催している研修を受講する機会を与えてもらっている	。法人内での研修は実施されていない。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	児発管と共に支援プログラムも作成する機会を与えられている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	スタッフの意見を聞きながら、支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	支援計画を立てる際には支援に関わる職員を入れて話し合いがなされている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	ミーティングで支援について共有されている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	ミーティングで支援について共有されている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0		利用者が少ない時間に話し合っていない
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	曜日ごと、利用者ごとに毎月計画を立てている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	ボードにその日の内容を記入して、支援時間の途中から参加するスタッフにもわかりやすく示し、支援しやすくしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	児発管により話し合った内容や気づいた点はLINEWORKSなどで共有されている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	記録に時間がかかりすぎないように工夫されている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	半年ごとのモニタリングの他に気になる利用者に関しては都度話し合い見直しをしている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1		各機関との情報共有はなされているが、相互理解につながっているかはわからない
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1		保護者との理解はなされていると思うが、関係機関との連携は取れていないと感じる
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	0		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	1		交流の場や時間を設けることが難しい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	概ね児発管がその役割を担っておりスタッフへの情報の共有もなされている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		検討している
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	見学後、説明等がされている	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	面談時に確認している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	児発管が対応している	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1		検討中
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	アプリの活用や行事予定表などを配布している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	1		配慮はしているが、相手に伝わらない場合もある
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1		その余裕がない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2		マニュアル等は策定しているが、訓練は実施していない
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		今年度から実施予定
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	契約時に確認している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	指示のいる子がいない	指示書に基づく対応はしたことない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	都度研修を受けている	
	53	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	3	1		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	1		組織的な決定はなされていない